

令和7年度普及活動アルバム

諏訪農業農村支援センター

令和7年度は、「第4期長野県食と農業農村振興計画」及び「普及活動基本計画（5か年計画）」の3年度（中間年）として活動しました。

3年目となる重点課題「高原野菜産地の総合防除体制の確立」では、2つの主力野菜の病害虫対策（①「セルリーの疫病対策の推進」、②「テンサイシストセンチュウ総合防除対策の推進」）について活動しました。また、女性農業者の育成、社会情勢や気象条件の変化に対応した地域における新たな取組について、市町村、JA等関係機関と連携して活動しました。



【通年】

重点課題①「セルリーの疫病対策の推進」の取組

セルリー疫病は、諏訪管内で国内初確認された病害で、令和5年度から「対策技術の向上」と「推進体制の構築」に取り組んできました。研修会や年4回の「セルリーかわら版」による農業者へのタイムリーな情報に加え、「セルリー疫病対策マニュアル」を作成し、JAや農業者へ配布することで技術の向上が図られました。



【通年】

重点課題②「テンサイシストセンチュウ総合防除対策の推進」の取組

テンサイシストセンチュウが発生した畑でアブラナ科野菜を作付ける場合には2年1作を基本に、D-D剤による薬剤防除と捕獲作物による生物的防除を組み合わせた総合防除について、重点的に指導しました。また、関係機関とともにまん延・再発防止のためのチラシ配布や意見交換、説明会等を開催しました。



【4月、1月】

女性農業者による地域での大豆栽培と活用促進

県農村生活マイスター協会諏訪支部では、地域特産物の味噌の原料である大豆栽培に取り組みました。会員自身で栽培から加工を行い、あわせて地域の人に栽培講習会や料理教室、交流会を開催しました。この活動を通じて、会員との組織や地域を超えたつながりができ、マイスターの活動の活性化が図られました。



【6月】

緑肥（ヘアリーベッチ）を活用した減肥栽培検討会を開催

4月には種した緑肥を2か月後にすき込んだ後、ズッキーニを栽培しました。6月の緑肥すき込み時に行った現地検討会では、農業者、JA等と緑肥の生育量を確認、測定しました。また、7月には、後作のズッキーニ栽培における減肥効果を確認し、参加者からは新たに取組を希望する声が聞かれました。



【1月】

りんごの新たな産地づくりに向けた講習会の開催

高標高地の冷涼な気候と消費地である首都圏に近い立地条件を活かしたりんごの産地づくりに取り組んでいます。新たに栽培に取り組む農業者の確保育成のため JA や市町村と連携し「新規就農者セミナー」や「八ヶ岳西麓りんご生産アカデミー」などの講習会を行いました。